

浸水後の対処方法

公式Instagram
ちょこちょこ更新中！！



家は床下浸水程度でも、基礎の木部などでカビが出てしまうことが多くあります。強いカビ臭がする時はカビが広範囲で広がっている可能性が高いため、早めの対処が必要です。季節や環境によってはカビの繁殖が早いので健康被害が起きる前になるべく早く専門の業者へ相談をしましょう。



7~30μの
ミストがでます！

木材に白くついているのがカビです。広範囲に出てしまっているのが分かります。

浸水後数か月で、壁にカビが出てしまいました。早く日常生活に戻るために、浸水部の乾燥を後回しにしてしまったことが原因です。

フォグマスターによって細かいミストで除菌・消臭を行い、その後しっかりと乾燥させます。

床下の土砂を撤去した後に、フォグマスターで守護神を吹き付け除菌・消臭処理を行います。乾燥後、次はカビ守護神の吹き付け、もしくはカビ守護神燻煙型エアゾールを噴射させ防カビ・防臭処理を行います。浸水後の消毒に消石灰を使うことがありますが、基礎部分の金具などの腐食の恐れがあり、肌や目を痛める可能性があります。消毒や除菌は様々な業者が行っていますが、大事なのは防カビです。一時的な消毒や除菌は持続しないのでしっかりと防カビをし、次年度の梅雨や夏に備えなければなりません。カビや臭いでお困りでしたら、弊社までお気軽にご相談ください。



うめの樹からおすすめるお食事処

うめの樹の独断と偏見で選んだコアなお店!!



【 杉国商店 】

住所 〒414-0002 静岡県伊東市湯川2-2-18
TEL 0557-37-2236
店舗営業時間 AM7:30~PM4:00頃
食堂営業時間 AM7:30~PM2:00(PM1:30Lo)
定休日 ホームページに毎月の定休日があります【<https://sugikuni.com/>】
Instagram @sugikuni_shoten



静岡県伊東市湯川で干物の製造直売を営んでいる「杉国商店」さんです。干物(鰯や金目鯛や鰻、ふぐのまりん干しなど)伊東の名物が揃っています。食堂で干物を注文できるので、焼き立てをおいしく召し上がれるのが嬉しいです!



うめの樹

No. 11

有限会社アール・シーウメハラ
静岡県駿河区小鹿1394-1
TEL : 054-203-6477
FAX : 054-284-8120
編集・発行 2022. 11. 21



9月23日の未曾有の災害から1ヶ月以上が過ぎました。まずは被害に遭われた皆様、まだまだご苦労されていると思います。謹んでお見舞い申し上げます。

今回は、毎年全国何処かで被害が繰り返されている台風や集中豪雨による水害について考えてみたいと思います。何が原因かと云えば口を揃えて皆さんが答えるのは地球温暖化による海水温の上昇による影響となると思います。そのためCO2の削減、カーボンニュートラルの実現など世界中で叫ばれ各国努力をしていると思います。当日を振り返ってみれば、23日19時大雨警報(この時私は孫達と食事をしていました)20時20分、静岡市南部洪水警報22時05分、市北部土砂災害警報、市北部洪水警報…となり、翌日24日5時47分には市北部洪水警報解除となっていきました。私も静岡市役所の裏辺りで食事をしていて、警報が次々と出てきたので23日21時頃には「これはやばいな…」と思い帰宅したのですが、多分ギリギリの判断だったと思います。この後は報道の通り、停電、浸水、山間地では土砂災害、そして断水という様に被害が拡大したのですが、警報発令から僅か8~9時間くらいで雨も止み解除になっていたのです。非常に短時間で増水し、被害をもたらしたのが今回の大きな特徴だと思います。そして静岡市全域で床上浸水4,272棟、床下1,531棟(圧倒的に床上が多かったのが特徴的)全壊4棟、半壊2,249棟、一部損壊2,515棟(罹災証明を交付した被災家屋を3区分に分類)という事で、あとで保険が下りる・下りないを考えた時、半壊、一部損壊が殆どだという事はその額に厳しい審査が下る事になり、実際に弊社に床下防カビ工事などの依頼をされてはいても「まだ保険の採択が決まらないんだよね」という言葉も聞けます。12月中頃にならないと…のような話も聞くので、社協やボラ協を通じて支援してくれるボランティアの方々は頼みの綱であり非常に頭が下がります。11月10日現在でも葵区に関して言えば10人~20人程度の方々が泥だらけになって土砂の掻き出しや水没した家財の搬出などをしてくれており、土日になれば30~40人程もの人達が活動してくれております。阪神大震災、東日本大震災等々や各地での災害に御呼ばれし診てきた私ですが、いざ身の回りだと考えると今回は私自身大した被害がなかったとはいえ、何もできなかったと反省せざるを得ません。

後にありますが、年間の短時間豪雨の発生回数が10年前、更にはその10年前と比べると1.4倍も増えているそうです。明日は我が身だという事をくれぐれも忘れないようにと今回つくづく思いました。皆様も備えあれば患いなしとご準備の程をお願いします。もちろん、様々な問題や災害などを通じ皆様の困った!?を解決すべく考えたのが『えこきーぱー』によるCO2削減対策であり、『守護神&カビ守護神』での除菌・防カビ対策です。こんな時に宣伝かよ…と思うかも知れませんが、もっと困ったことにならない様に日々私も社員も、暑さこの上ない工場に出向いたり、天井裏や床下に入って調査や作業をしております。目立たないところで頑張っているのご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

後にはありますが、年間の短時間豪雨の発生回数が10年前、更にはその10年前と比べると1.4倍も増えているそうです。明日は我が身だという事をくれぐれも忘れないようにと今回つくづく思いました。皆様も備えあれば患いなしとご準備の程をお願いします。

もちろん、様々な問題や災害などを通じ皆様の困った!?を解決すべく考えたのが『えこきーぱー』によるCO2削減対策であり、『守護神&カビ守護神』での除菌・防カビ対策です。こんな時に宣伝かよ…と思うかも知れませんが、もっと困ったことにならない様に日々私も社員も、暑さこの上ない工場に出向いたり、天井裏や床下に入って調査や作業をしております。目立たないところで頑張っているのご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

代表取締役 梅原 勇

うめの樹のバックナンバーがえこきーぱーと守護神のホームページからダウンロードできるようにになりました!!



守護神HP



えこきーぱーHP



9月の水害

近年、毎年のように耳にするようになった水害。ゲリラ豪雨や台風の影響により川が氾濫、浸水の被害が報告されています。弊社のある静岡市でも9月の台風15号の影響により長期間の断水や停電が起きました。自然災害と聞くと地震を思い浮かべる人が多いかもしれませんが、最近では水害もとても多く全国各地で発生しているため、身近な災害だと認識し、水害対策の知識を増やし日ごろから対策をしておくことが重要です。



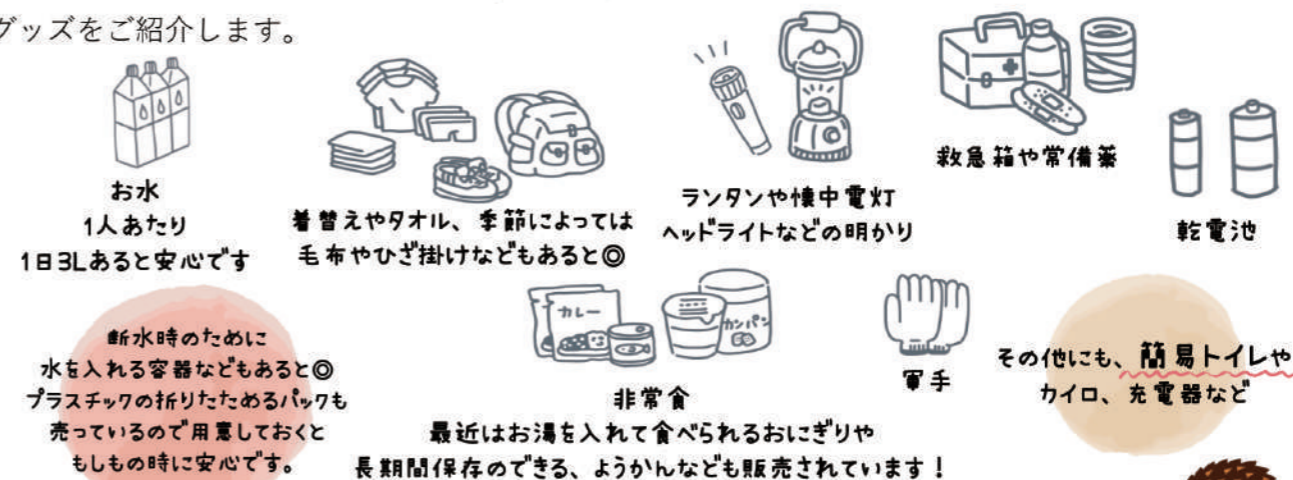
上の写真は9月23日、24日に静岡県内を通過した台風15号による静岡市の被害写真です。このように毎年2~3回ほどは各地で水害・土砂災害が起っています。

年々増える自然災害

近年は1時間の降水量が50ミリを超える大雨が多くなっています。そのため河川の氾濫が起ると低地帯の住宅は早い段階で浸水が起るので、住民は素早い非難が大切です。短時間強雨は1976~1985年の10年間の年間発生回数が平均174回だったのに対し、2010~2019年では平均251回と、約1.4倍に増加しています。今後も温暖化や気候変動により益々水害などの災害が増えてくると予想されます。

災害時のために用意しておきたいもの

自然災害により電柱の倒壊や電線が切れてしまうと停電が起きます。電気がつかない、スマホの充電もできない、また水のくみ上げが電気式の場合は水道も出ません。電気が滞ってしまうと私たちの生活には不便しかありません。そこで、もしものために日ごろから備えておきたい防災グッズをご紹介します。



飲料水や食料は「ローリングストック法」による備蓄が管理が簡単です！

「ローリングストック法」とは、災害時に備えて水や食料を多めに買い置きして、消費した量に応じて補充するという備蓄方法です。水や食料を、日常的に消費しながら備蓄していくことになるので、消費期限が切れてしまった・・・ということになりにくいのです！

また、小さなお子様がいるご家庭はミルクやオムツ、離乳食を準備しておく安心です。使っているサイズのオムツを新品の袋の状態のまま持ち出せるような場所に置きましょう。

被害に遭ってしまった場合

万が一被害にあってしまった場合には家等の被害の様子が分かる写真を撮影しておきましょう。家屋の内外を様々な角度から浸水した深さが分かる写真を撮ります（市町村の罹災証明書発行時と保険の手続きで役に立ちます。）また、自動車、物置、農機具やシステムキッチンや洗面台などの住宅設備、濡れてしまった家電などの写真も撮っておきましょう（自動車は危険なのでエンジンはかけないように、ブレーキも効かない場合があるので要注意です。また、空調機の室外機やポンプ、湯沸かし器など時間が経ってから壊れるケースもあり注意が必要です。）

公的支援を受けることができます！

水害に遭ってしまった場合、住宅の被害程度により様々な公的支援を受けることができます。支援を受けるためには「罹災証明書」という書類が必要になるので、まずは市町村に申し出をして罹災証明書の交付をしましょう。

支援を受けるまでの流れ

「市役所等に浸水を申し出る」→「住宅の被害認定調査を受ける」→
「罹災証明書の発行を受ける」→「被害認定に応じて各種の支援を活用」
水害にあったときに 震災がつなぐ全国ネットワーク・編 P8より